

「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」を知ろう！！

★ホテルや旅館のバリアフリー★

新型コロナウイルスの影響で、泊まりで旅行に行くことができなかった時期もあったと思いますが、最近では泊まりで家族旅行や学校行事ができるようになってきていますね。みなさんの中にも、冬休みに旅行をするという人がいるかもしれません。ホテルや旅館にも、バリアフリーが取り入れられているところがあります。からだの不自由な人が安心して旅行ができるように、どんな工夫がされているのかな？工夫の例を見てみよう！

みんなもさがしてみてね！



1 多くの人を使う場所にはどんな工夫があるかな？



車いすで入りやすいようにスロープがあります。



フロントには、車いすで使いやすい高さのテーブルや、耳が不自由な人のために筆談ができる道具があります。



つくえにもつお机や荷物置き場に、車いすでひざが入るスペースがあります。

2 部屋にはどんな工夫があるかな？



車いすの高さから移動しやすいようにこしをかける台や、手すりがついたお風呂があるホテルもあります。



目の不自由な人が、さわって部屋の番号を確かめられるようになっていました。さわっても痛くない工夫がされているよ。

からだの不自由な人が利用しやすくなるように、ホテルや旅館はいろいろな工夫をしているので、みなさんも泊まることがあったらさがしてみてね！

★★「ほじょ犬」って知ってる？★★



みなさんは、このマークを見たことがありますか？
 このマークは、「ほじょ犬マーク」と言います。
 「ほじょ犬」ってどんな犬のことなのか、
 そして、このマークは、どんなマークなのかを見てみよう！

ほじょ犬ってどんな犬なのかな？

目の不自由な人の手助けをする「盲導犬」、手や足が不自由な人の手助けをする「介助犬」、耳の不自由な人の手助けをする「聴導犬」のことを言います。特別な訓練をうけた犬で、ペットではありません。

たとえば、「盲導犬」は、目の不自由な人がつまづかないように曲がり角や段差を教えたりします。

「介助犬」は、ものを拾って渡したり、着がえのお手伝いをします。「聴導犬」は、

電話の着信音や玄関のチャイムなど、さまざまな音を聞き分けて、教えてくれます。

からだの不自由な人が安心して生活するためには欠かせないパートナーなんだね！



このマークはどんなマークなのかな？

このマークは、「身体障害者補助犬法」という法律を多くの人に知ってもらうためのマークで、使われ始めて20年になります。

この法律では、役所などの公共施設や電車などの交通機関、スーパーマーケットやホテル、レストランなどの民間施設はからだの不自由な人が「ほじょ犬」と一緒に利用することを受け入れる義務があると決められています。

「ほじょ犬」が一緒にいることだけを理由に、施設を利用することを拒否してはいけません。

皆さんの身のまわりにある役所やスーパーマーケットなどにも貼ってあるところがあるかもしれませんね。



こんなことに気をつけよう！

「ほじょ犬」はペットではありません。からだの不自由な人と一緒にいるときは、仕事で食べ物や水を与えたり、さわったり、話しかけたり、びっくりさせたりしないようにしましょう。からだの不自由な人が安心して、よりよい生活ができるように、協力していきたいですね。みなさんで、あたたかく見守っていきましょう！

参考：厚生労働省ホームページ「ほじょ犬マークとは」リーフレット「もっと知って ほじょ犬」

バリアフリー

障がいのある人が生活していく上で

バリアとなるものをなくしていくこと



ユニバーサルデザイン

できるだけ多くの人を使いやすい

ように考えられたデザイン



さわると「ちがい」がわかる！